

# もいや里山新聞

7/27

【土曜日】

発行

守谷里山ネット

## 一・田んぼの学校で田植え

守谷市内では各地で小学校児童の稲作体験「田んぼの学校」が行われています。

立沢里山では五月十五日(水)の九時から北守谷団地内の御所ヶ丘、松前台、大井沢の三小学校五年生合同の田植えが行われました。ほとんどの子供たちは初体験で、説明を真剣に聞きますが、いざ田んぼに入ってみると泥に足を取ら

れて一步も歩けません。尻もちをついて泥だらけになり最初の一分くらいは叫び声ばかりで田植えにはなりません。

里山の会の指導でどうにか慣れてきて、一斉に並んで植えが始まります。一時間ほど葛藤して何とか田植えが終わりました。

田んぼによって大きさや深さがかなり違うので、無事終わった学校からポンプアップした地下水で手足の泥を流します。

田植えの説明



最初は歩くのも大変で大騒ぎ



皆が並んで頑張ります。



無事終了、田植えやったぞ～！



### 目次

1. 田んぼの学校で田植え
2. 竹林作業と炭焼き
3. 御所ヶ丘小学校2年生の課外授業
4. 転入家族歓迎行事「ようこそ守谷へ」
5. アサヒビールから環境助成金

ボランティア募集  
あなたも一緒に楽しみましょう！

## 守谷里山ネットワーク

〒302-0119

守谷市御所ヶ丘5-25-1 守谷市民活動支援センター

☎ 0297-46-3370

メール [denen21@ktb.biglobe.ne.jp](mailto:denen21@ktb.biglobe.ne.jp)

ホームページ「野に集い野に遊ぶ」

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/>



守谷市では、多くのボランティア団体が各地で、手作りによる里山づくりを行っています。何か地域で活動してみたい/自然と関わりのある活動してみたい/子供たちの遊び場を作ってみたい/みんなで楽しく汗をかいてみたいそんな思いをお持ちの方は、ぜひこの機会にご一緒に活動してみませんか。

今年も手洗いにはソーメン流しを改良した掛樋が役にたちました。  
最後に全員が集合して挨拶をし、田植えをやったぞ～！の掛け声で写真を撮りました。ご苦勞様でした。泥だらけになっても皆で楽しかったかな！

## 二. 竹林作業と炭焼き

立沢里山の会では、地主さんのご理解とご協力で屋敷内の竹林を使わせていただいています。

田んぼの学校で使用するオダ用の竹やソーメン流しの掛樋、水鉄砲、竹トンボ、竹笛、七夕飾りなど様々に活用しています。

毎年冬季の恒例作業では竹林を伐採して炭焼きを行います。十一月から竹林を伐採して、一月、二月には定尺に裁断・竹割して乾燥させ、節とり・結束と半年近い様々な工程を経て、三月末に坂東市内の県自然博物館の炭窯「博葉玄窯」まで運搬し、竹酢液を回収しながら一週間近くかけて炭焼きをします。完全に閉塞して温度が下がった数週間後に窯出しして、竹炭が出来上がります。竹だけでなく、木の実や穀類な



里山の竹で手づくり門松



炭焼き風景



ども入れて、竹炭アート、土壌改良材など様々に活用します。

また年末にはお正月飾りの制作で、竹林には竹のほかにも南天、松、マンリョウなどがあり、それらも活用して門松飾り、注連縄、花器などを手作りします。数年前には大きな門松を制作して、いつもお世話になっている市民活動支援センターの入口



竹炭アート

立沢里山の田んぼは、上総堀の井戸があるのでポンプをフル稼働させて田植えは何とか行うことができましたが、日常的にポンプを使うことはかなりの負担と

に飾りました。

毎年のタケノコ採りも楽しみみです。ミカン、柚子なども収穫させてもらっています。一番の御馳走は、作業の休憩時間に地主さんから差し入れていただく漬物、煮物、オヤツなどが実に美味しいことです。

### 今年は干ばつか猛暑か？

今年は冬から春にかけてほとんど降雨がなかったので小さな小川は水が枯れて、田植えも大変な状況でした。



竹林の収穫物

なり、交代で水当番となりました。また使用頻度が高いとポンプの消耗も激しくなることから、パイプやパッキンなども補修交換し、急遽保護用の囲いを制作しました。七月になると一転して梅雨空が続き、用水の面では安心ですが、今度は日照不足が心配されました。

例年大変な土手の漏水補修については、冬季に畦を幅広く盛り立てた効果か、昨年彼岸花を植栽してモグラが減ったためか、かなり少なくなり助かりました。そのかいあってか、七月下旬時点で、今年の稲の生育状況は比較的順調です。

大活躍の揚水ポンプ



### 三、御所ヶ丘小学校の課

#### 外授業

六月二〇日(木) 御所ヶ丘小学校の二年生、二クラス約五〇人の課外授業を立沢里山で実施しました。

心配された雨は朝方にスッキリとあがり、薄曇りと里山遊びには最高の日和となりました。

一〇時前には、皆タモや虫かご、水筒等を片手に、先生や父兄の付き添いを受け学校から徒歩で元気にやってきました。

最初に立沢里山の会からパンフ



笹舟の作り方

レットを受け取り、里山の紹介や注意事項の説明がありました。続いて笹舟作り

に挑戦しました。最近の守谷は笹が少なくな

り、今回レレットを受け取り、里山の紹介や注意事項の説明がありました。最初に立沢里山の会からパンフ

か、に里山の小川沿いにいくだけでも生えているヨシの葉を使いました。ほとんどの子供が笹舟作りは初めてで、少々苦労しましたが、里山の会の指導で何とか出来上がりました。早速里山の小川に流します。

笹舟を小川に



は近辺から採取した笹のほ

子供達の感想文



で、池の中をすくいザリガニ、メダカ、ドジョウなどを採っては歓声が上がります。泥だらけになっても子供たちは楽しそうに時間い

#### 田んぼの草取り

っばい元気な声が飛び交いました。最後に湧水で手足を洗い、メダカや薄荷の葉などのお土産を持ち、意気揚々と帰っていききました。皆楽しそうに、里山の会の叔父さんも一緒に遊べました。

六月二二日(土)は、五月に田

植えした小学校五年生が、先生と一緒に田んぼにやってきました。

深い田んぼに足をとられながら草取りを頑張りました。草取り作業後は、ア

イスクリー

ムを食べ、

合間に笹舟

作り・流し

を行うこと

にしました。

中には先

日二〇日の

課外授業に

参加した二

年生もいて、

お兄ちゃん

の草取りに

ついてきて、

兄弟一緒に

笹舟流しを

やりました。

田んぼの草取り



四、「ようこそ守谷へ」

守谷に転入してきた家族を歓迎する守谷市主催の「ようこそ守谷へ」が六月三〇日(日)常総総合体育館において開催されました。毎年、実行委員会の皆さんが工夫を凝らして運営していますが、今年は十二時半開会に四時閉会となり長時間です。

守谷里山ネットワークが中心となり、自然に恵まれた守谷市を紹介するために毎年広報ブースを出しています。

パネル展示、里山マップや里山新聞配布は例年通りなのですが、水槽での生き物展示が苦勞です。今年には生憎の雨模様で、当日の



10月茨城国体マスコットキャラクター「いばラッキー」

子供はザリガニが大好き



午前中に行った小川や田んぼからザリガニやメダカの捕獲に難儀しました。

会員の活躍で何とか数だけは確保しましたが、最近ではザリガニの元気がなく、なかなか釣れないのが現実なので何が子供たちの興味を引き付けられるか思案しました。そこで、捕獲した中に変異中のオタマジャクシが多かったことから、観察用のプラスチックケースで親子の展示をしてみました。

案の定、カエルに尻尾があるとか、オタマジャクシに手足があると思議そうにしています。女子中学生は「キヤーカーわいい!!」と大騒ぎです。実は大人も知識としては知っていたが、実物を見る

のは初めてという人も大勢いました。変異期間は一週間くらいしかないのだから日常的に観察できる農村で育ったか、自宅の水槽で飼った経験がなければ変異の瞬間を見る機会は少ないのかもしれない。釣れなくても、やはりザリガニ釣りは子供の人気で、ずっと水槽から離れない子や何度もやってくる子供もいました。

大人は水槽の小魚をジツと見つめて、どこにいますかですかと質問してきます。「ほとんどは近くの里山から今日の午前中採ってきたものです。」と説明しながら「里山マップ」を手渡すと、是非子供と一緒に行ってみたいと多に喜んでもらえました。

守谷は緑が多いと期待して転入してきた家族が多く、里山の生き物を実物で生展示することに、実感を持ってもらえたかなと思います。

歓迎会としては、最近分譲されている松並地域などの若い世帯が多いと感じました。守谷市のクイズや転入者の交流などにも工夫して運営されていました。

五、「アサヒビールから環境助成金」

環境助成金

今年もアサヒビールから立沢里山の会に環境助成金が交付されました。

七月二三日(水)午前一〇時から、アサヒビール茨城工場(守谷市緑)に、鈴木会長ほか二名で出向き、工場長から手渡しを受けました。守谷里山新聞を渡して里山の会の活動状況等について説明し、かつての工場周辺の自然環境などについて情報交換しました。



アサヒビールから助成金受領

【編集後記】

守谷市内で里山活動に取り組んでいる皆さんからの情報提供が何よりも重要です。本紙への活動報告、行事の予告など記事をお寄せください。

メール⇒ [denen21@ktb.biglobe.ne.jp](mailto:denen21@ktb.biglobe.ne.jp)